

福祉だより

第76号

令和3年6月30日発行

社会福祉法人 泊村社会福祉協議会

通所型サービスA事業 (ミニデイサービス事業)



泊村社会福祉協議会では、泊村から委託を受け、「通所型サービスA事業(ミニデイサービス)」を実施しております。「利用者の生活機能の維持または向上等の介護予防」を目的とし、軽運動、入浴、脳トレなどの機会を提供しております。利用される方の在宅生活を継続できるように、適正なサービスを提供していきたく思います。

●社会福祉法人 泊村社会福祉協議会

〒045-0202 古宇郡泊村大字茅沼村500番地の2
TEL 0135-75-3761 FAX 0135-75-3763
メールアドレス tomari-syakyo@ak.wakwak.jp
ホームページ <http://www.tomarimura-syakyou.or.jp>

●泊村社会福祉協議会 訪問介護事業所

TEL 0135-75-3010 FAX 0135-75-3763

●泊村在宅老人デイサービスセンター

TEL 0135-75-3363 FAX 0135-75-3763

泊村社会福祉協議会 〈基本方針〉



私たちの置かれている社会は人口減少や少子高齢社会が進行し、地域でのつながりが一段と希薄化している状況です。また近年多発している自然災害に対して、日頃から高齢者や子ども達などを含めた地域間での交流を継続的に得て、支え合える地域づくりが重要となってまいります。このことを背景に、泊村社会福祉協議会は地域福祉推進の中核機関として、村民の安心・安全な暮らしと地域づくりや、各種福祉団体活動などの支援を推進します。また令和3年度においては厳しい財政状況も踏まえ、これまで以上に費用対効果を見極める検証を進めていきます。裾野の広い福祉において本会の役割や事業運営の意義を再認識しながら丁寧な説明にも努力をしております。住民の生活を脅かすコロナ禍であっても、地域のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援・解決につなげ、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで考え実践する「福祉のまちづくり」を推進していくことを基本方針とする。

重点 目標

- (1) 住民が参加する、地域のふれあい、たすけあい活動を積極的に支援・促進し、地域全体での相互支援サービスの充実を図る。
- (2) 支援を必要とする方々の福祉ニーズの把握に努め、幅広く情報発信に努め、サービス提供への住民参加を促進する。



出張福祉教育



ワークキャンプ事業



除雪サービス事業



ボランティアセンター運営



老人クラブ連合会



身体障がい者福祉協会

新規事業の取組み



「地域交流事業地域食堂」

地域の方々子ども・高齢者世代が交流する世代間交流の機会として、地域食堂を展開し、地域がより一層つながることを目指します。

※新型コロナウイルス感染状況を見て、中止とする可能性があります。

ボランティア



「ボランティアポイント事業」

ボランティア活動を行ったボランティアに対して、実績に応じたポイントを付与する制度を検討し、ボランティア活動の推進を目指します。

泊村在宅老人デイサービスセンター〈基本方針〉



泊村在宅老人デイサービスセンターでは、「在宅の虚弱老人等に対し、各種サービスを提供することによって当該老人の生活の助長、社会的孤独の解消、心身機能の維持向上等を図ること」や「利用者の心身の特性を踏まえて、要介護状態の軽減や悪化防止を図るため、又は要介護状態にならない予防的支援を目的として計画的な支援の提供に努める」ことを事業目的として掲げています。この事業目的に沿ってケアプランを基に、個々の利用者の通所介護計画を作成しサービスの提供を行っております。

重点目標

令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、レクリエーションはビデオ鑑賞やネット動画鑑賞、個人の作品作りなどの限られたことしか実施できない状況でした。令和3年度は感染予防対策に重点を置きつつも運動系などのレクリエーションや計算問題・間違い探しなど認知症予防の脳トレなども行って参りたいと思います。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため、各種研修会がほとんど中止となっており、職員が参加することが出来ない状況でした。今後もこの様な状況がしばらく続くと考えられるため、現在主流になりつつあるオンライン研修などへの参加も検討し、施設内で研修を受けられるよう取り組んで参りたいと思います。

令和3年度も新型コロナウイルス感染予防対策として職員の体調管理、施設内や送迎車内の消毒・換気などを徹底し、安心して継続したサービスの提供ができるよう心掛けて参ります。



訪問介護事業所〈基本方針〉



- ① 介護保険法・障害者総合支援法の主旨に沿って、利用者が要介護状態になった場合においても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、入浴、排泄、食事の介護、その他生活全般にわたる援助を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持向上を目指します。
- ② 利用者の意思及び、人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービス提供するよう努めます。
- ③ 関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。
- ④ 提供するサービスの質の評価を行い、その改善を図ります。

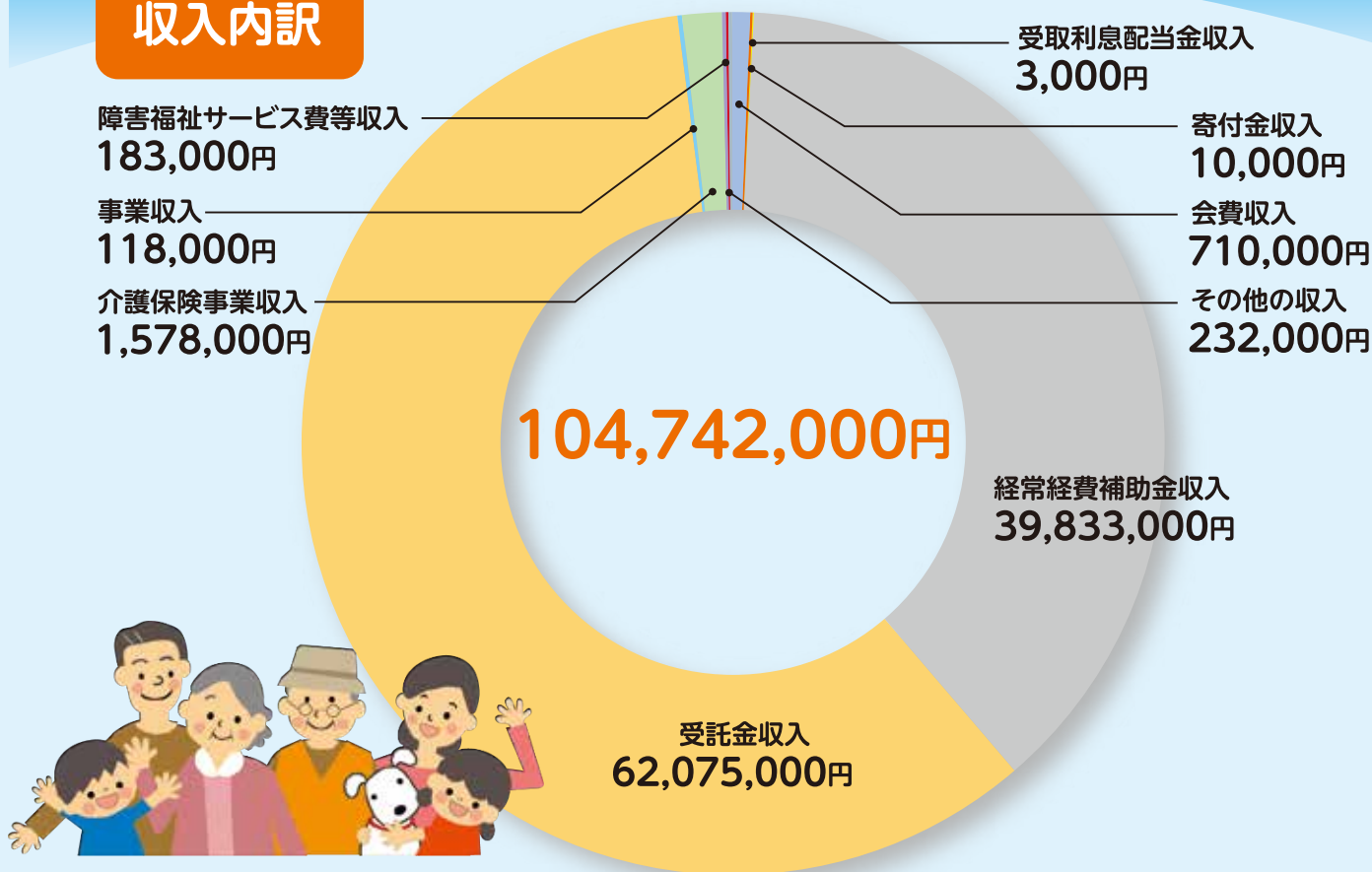
重点目標

- ① 利用者、家族の意向を尊重し、安心した生活が送れるよう専門性の高いサービス提供に努めます。
- ② 内・外部研修を充実させることにより、専門性を高め、より質の高いサービスを提供します。
- ③ 情報共有の維持・促進により利用者へのサービス提供の統一化を図ります。

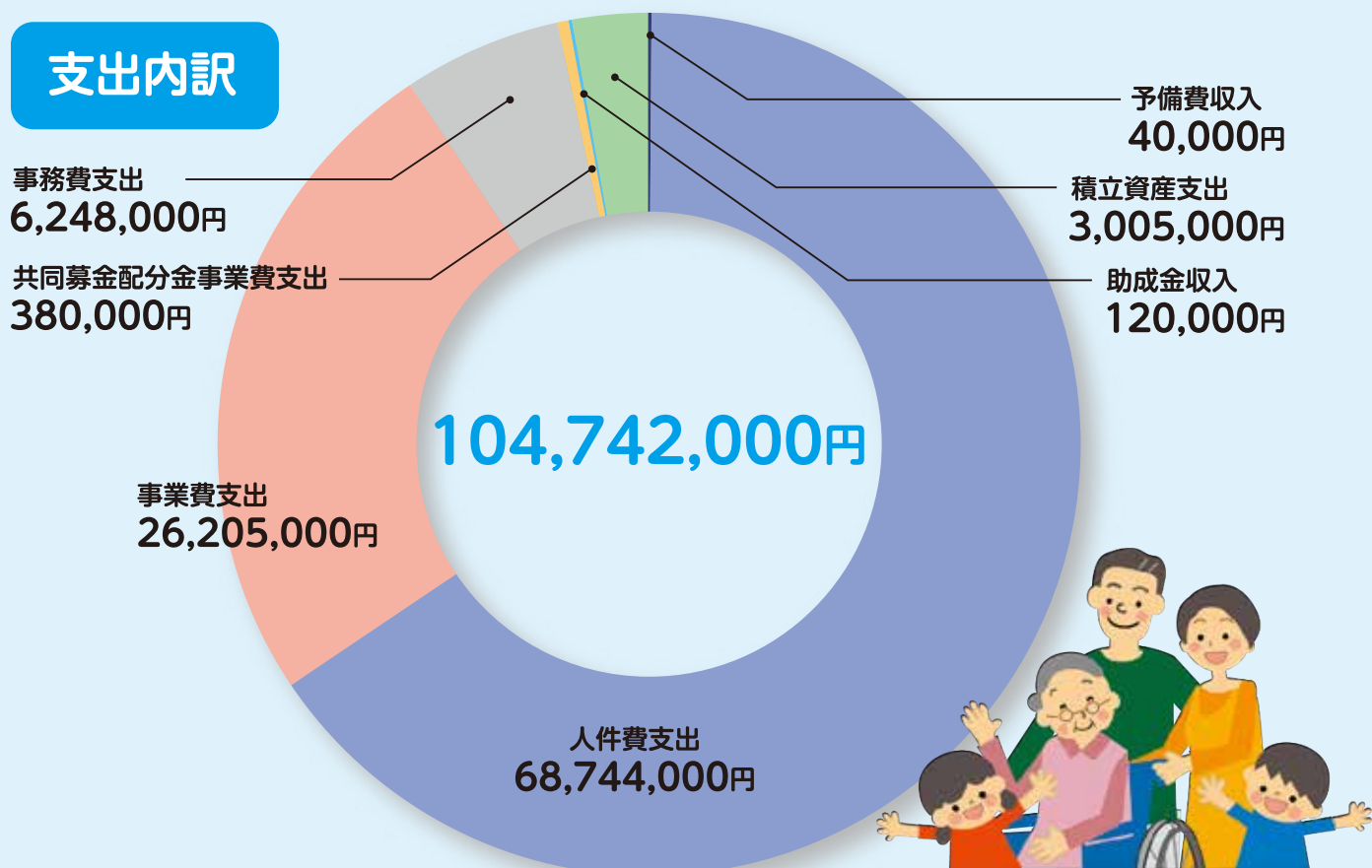
令和3年度 収支予算のご報告

皆さんからご協力いただいた会費や寄付金、泊村からの補助金・委託金等を活用して、誰もが心豊かと幸せを実感できる「福祉のまちづくり」を目指して活動します。

収入内訳

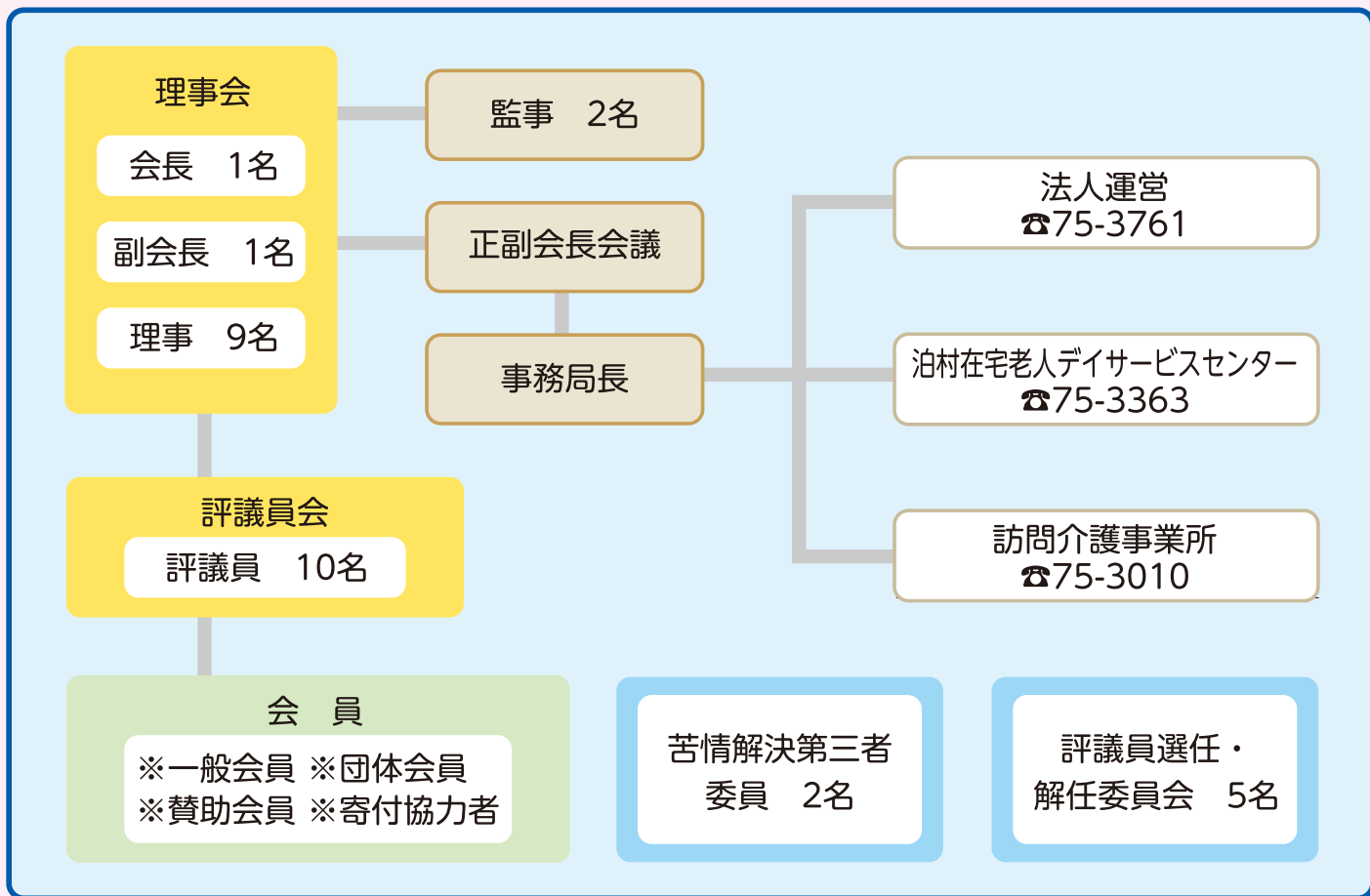


支出内訳



令和3年度 泊村社会福祉協議会の組織図

今年度、役員(理事・監事)・評議員の改選時期となり、本会としても新たな組織体制としてスタートします。



役員(理事9名、監事2名)

任期：令和3年6月11日～令和5年6月の提示評議員会終結時まで

※新任

会長……………檜垣 馨 (学識経験者)	理事……………寺井 義則 (学識経験者)
副会長………小林 常次 (地域会役員)	理事……………※保原 正博 (地域会連合会推薦)
理事……………高橋 巖一 (民生児童委員)	理事……………※福原 美枝子 (学識経験者)
理事……………高橋 英俊 (社会福祉事業を経営する団体の役職員)	監事……………沼崎 徹 (財務管理について識見を有する者)
理事……………武井 和子 (ボランティア活動を行う団体の代表者)	監事……………武井 大三 (社会福祉事業について識見を有する者)
理事……………谷内 仁 (地域会役員)	

評議員 10名

任期：令和3年6月11日～令和7年6月の提示評議員会終結時まで

※新任

(社会福祉事業を経営する団体の役職員)

(社会福祉法人の適性な運営に必要な識見を有する者)

・澁谷 剛	・岩田 泰子	・小川 晃	・※下池 毅成	・對馬 英登志
	・徳永 千佳子	・鳴海 邦次郎	・本間 芳男	・三島 静雄
	・※吉田 純子			

評議員選任・解任委員会 5名

任期：令和3年6月11日～令和7年6月の提示評議員会終結時まで

※新任

外部委員…結城 智 (社会福祉事業について識見を有する者)	監事……………沼崎 徹 (社会福祉事業について識見を有する者)
外部委員…※飯田 有 二 (社会福祉事業について識見を有する者)	監事……………武井 大三 (社会福祉事業について識見を有する者)
職員……………高橋 幸大 (社会福祉事業について識見を有する者)	

泊社協への声をお待ちしています

泊村社会福祉協議会が行う福祉サービスについて、ご不満・ご要望等がございましたら、下記の担当者までご連絡下さい。いただいたご意見をもとに、福祉サービスの向上に努めてまいります。

苦情解決責任者

事務局長 タカハシ ユキヒロ
高橋 幸大

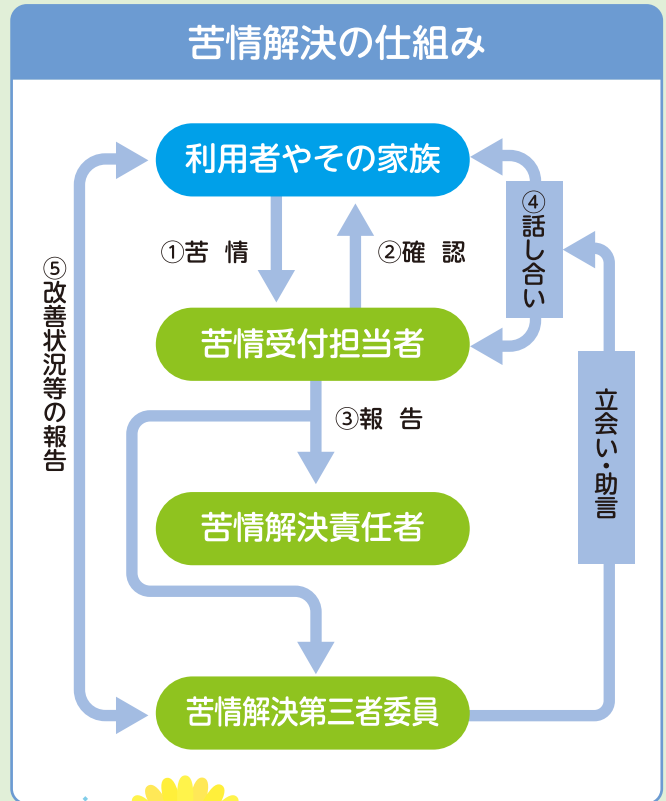
苦情受付担当者

事業所	役職 苦情担当者	電話
法人運営	福祉活動専門員	75-3761
	<small>シバタ ヒロキ</small> 柴田 拓紀	
訪問介護事業所	管理者兼サービス提供責任者	75-3010
	<small>ササキ ミホコ</small> 佐々木 美穂子	
デイサービスセンター	事業管理者兼生活相談員	75-3363
	<small>クロダ ヤスノリ</small> 黒田 康文	

苦情解決第三者委員

ツシマ ヒデトシ フクモリ タケジ
・対馬 英登志 ・福森 武二

苦情解決の仕組み



また、経済的に苦しい… 食事等の生活に困っている…
独居生活で孤独を感じる…

お金がなくて、
食べ物も底が
付きそう



どこに相談したら
いいんだろう…

こんなとき

社会福祉協議会

にご相談ください!

職員の動き

新規採用

デイサービス職員：

エビコ ジュリ
蛸子 樹里

採用 (4月15日付)



ペットボトルキャップ・リングプルの寄贈

白別地域会の皆さんが収集されたペットボトルキャップ25kg、リングプル33kgの寄贈をいただきました。いただいたペットボトルキャップは「札幌トヨタ」に進呈し、発展途上国の子供たちへのワクチン接種などに役立ちます。ご家庭で集めているペットボトルキャップ・リングプルの寄付を希望される方は、泊村社会福祉協議会 ☎75-3761までご連絡ください。

